

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和3年11月25日

2. 認定事業適応事業者の名称

フクシマガリレイ株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

当社はサステイナブルビジョン「Dramatic Future 2050」を掲げ、食品の生産からテーブルに並ぶまで温室効果ガスの排出を実質ゼロとすることに挑戦します。今回の計画では、業務用冷凍冷蔵庫、冷凍冷蔵ショーケース等を製造する工場に自家消費型太陽光発電設備を導入します。これにより、業務用冷凍冷蔵庫、冷凍冷蔵ショーケース等の製造に伴って排出されるCO₂を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

炭素生産性を23.1%向上することを目標とします。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2022年度（計画終了年度）に経常利益を計上する事を目標とします。

(4) 事業適応の類型

③エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

業務用機器器具製造業（27）

計画の対象となる事業は主に業務用冷凍冷蔵庫、冷凍冷蔵ショーケースを製造、販売するものであるためです。

(6) 事業適応の具体的内容

脱炭素の取り組みとして、当社の岡山工場、滋賀（水口）工場にそれぞれ自家消費型太陽光発電設備を導入します。

当該設備を導入することにより、以下の通りCO₂排出量を削減できます。

岡山工場：主に業務用冷凍冷蔵庫の製造工場（目標の炭素生産性向上率：41.13%）

- ・工場棟に合計出力 1.3MW の太陽光発電設備を導入し自家消費します。
- ・実施後は、年間電力使用量の 34.2%を自家発電でまかない、448 t・CO₂/年の削減を図ります。
- ・2020 年度比 25%減の CO₂ 排出量となります。

滋賀（水口）工場：主に冷凍冷蔵ショーケースの製造工場
（目標の炭素生産性向上率：25.95%）

- ・工場棟に合計出力 1.1MW の太陽光発電設備を導入し、自家消費します。
- ・年間使用電力量の 34.4%を自家発電でまかない、384 t・CO₂/年の削減を図ります。
- ・2020 年度比 19.2%減の CO₂ 排出量となります。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2022 年 1 月、終了時期 2023 年 3 月